

平成 23 年第 2 回議会報告会実施報告書

開催日時	平成 23 年 11 月 20 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分	
開催場所	木津南中学校 1 階 会議室	
担当議員	班代表者	酒井 弘一
	司会者	酒井 弘一
	報告者	伊藤 紀味枝
	記録者	西山 幸千子、高岡 伸行
	班員 (上記以外)	炭本 範子、長岡 一夫
一般参加者数	3 人	
主な質疑 ・意見等	<p>Q 参加者が少ないと思うが、地域長・区長・社協などへの協力を呼びかけたらどうか。</p> <p>A どのようにして参加者を増やすかは、反省として出てくると思うので、これからの課題としたい。</p> <p>Q 水道・下水料金・児童クラブの引き上げ、国保は 2 億円近い黒字が出た。市長の貯め込み主義に反対意見はあるが、議会の賛成意見は載っていない。</p> <p>A 賛成討論は無かったので、載せていない。</p> <p>Q 前回にも話したが、議会の空転があった。市長への申し入れの結果、議会の対応などはどうなったか。議会だよりも載っていない。</p> <p>A 次回に検討する。</p> <p>Q 12 ページの水道の写真は分かりにくい。料金の比較一覧表など、一目で分かるものにしてはどうか。</p> <p>A 広報委員会で報告の上、考えていく。</p> <p>Q 自由討議は行われたのか。行政の言いなりでは議会は不要。委員会でされた児童クラブの件などは、母子家庭の軽減措置が無い。もっと詳しく賛成意見・反対意見・議員名を載せるようにしてはどうか。</p> <p>A 本会議の採決結果は、議会だより 6 ページに載せてある。委員会では、賛成者の意見は出ていない。反対者のみの意見で、議論が行われた。よって、載せていない。今後、議会全体として「討論」を考えていかなければならない。</p> <p>Q 住民税の減収など所得が減っているのに、なぜ基金を積み立てた</p>	

<p>主な質疑 ・意見等</p>	<p>り、水道料金の値上げなのか。住民を守るための議会であるはず。議会基本条例に基づき、もっと自由討議を取り入れるべき。</p> <p>A 自由討議に関しては、もっと委員会や議運でも前向きに検討して行く。</p> <p>水道代は、今、統一をしないと赤字が膨らむ。誰もが安い方が良いに決まっている。しかし、緩和策を、講じないと3~5年後には、一挙に値上げになる。水道はライフラインであり非常に大事で、災害時のために基金は置いておくべき。また国保税なども値上げしたが、国保会計で2億円ぐらいの基金は必要。</p> <p>Q 国保税の値上げの時には、基金を含めての話ではなかったはず。結果としての黒字であるため、還元を考えるべきではなかったか。議会の中でもっと議論すべきであり、賛成者も「附帯決議」をとるべきだったのでは。</p> <p>A 議会での議論をしっかりと進める。</p> <p>Q 「総合計画」も3年目だが、どのくらい具体化されたか議会でチェックするのか。周辺地域は過疎化により田畑も大変。環境を守るためには森林田畑も重要。ブロック別都市計画の展開・展望を持っているのか。</p> <p>A 総合計画は5年を目処と考える。提案は市長公室と環境部局へ伝える。合併の時の計画は、議会として追求して行かなければならない。</p> <p>Q 災害時には、市が100%負担するものではない。防災のために市が適切に使うべき。提案は市でも値上げを決めるのは議会。市民のためにしっかり仕事をするべきでは。</p> <p>A 災害時と言っても、小さな災害（老朽管の布設替えなど）の時にお金がもらえなかったらどうするのか。今後、何が起こるか分からないから余裕が必要である。</p> <p>Q 緊急雇用対策費を基金に回すのはおかしいのではないか。市民目線の討論をしないといけないのでは。</p> <p>A 自由討議を含めて今後前向きに考えて行く。</p> <p>Q 市税が減少している。企業収益もなかなか見込めないで、民間企業に行政が補助して、雇用を確保し税収を上げる。なんでもカットだけでは展望がない。</p> <p>A 退職者も増えているのではと聞いたが、具体的な返答はなかった。行政には伝える。</p> <p>Q 「不採算事業をカット」とばかり、なんでも無くせばよいのではなく、総合的に考えて行かないといけないのでは。</p> <p>A 年度途中で国から9億円の交付金があり、すべてが住民のために使われたわけではなく、2億円は市の借金返済に充てられた。住民のために利用出来るように考えるべき。</p>
----------------------	---

質問・要望 等で行政側 へ報告すべ き内容	放課後児童クラブの母子家庭の軽減措置 中小企業に補助金を出し、雇用を確保して税込アップ 総合計画はどれくらい実現、進行しているか。 緊急雇用対策費を基金に回すのはおかしいのではないか。
そ の 他 特 記 事 項	やはり、参加者の確保が課題

上記のとおり、報告します。

平成23年11月29日

木津川市議会議長 尾 崎 輝 雄 様

平成23年第2回議会報告会
第5班 代表者 酒 井 弘 一